

SS級マイラーセールについてのレポート（参考）

「SS級マイラーセールの使い方等について～合計体重100kg前後の女子チームの場合～」

1 メインセール

①微軽風域（0m/s～4m/s）

- 基本セッティングは旧ダクロンと変わらない。サイドピンを下げすぎると速く走れない。

※ノーマルセッティング情報

プリベンド：60mm、フォアテンション：20、サイドテンション：30、ロワーテンション：7 バテンテンション：3回転・3回転・2回転・0回転・0回転・0回転

- バテンテンションを間違えると適正なヘルムにならない。
※バテンテンションが弱すぎるとリーヘルムが強くなるが、バテンテンションが強すぎると微風とオーバーパワーに対応できなくなる。
- 上3本のバテン付近の風の流りに合わせるのは困難である。
※ミドルのテルテールの流し方をリーチテンションの目安とすると良い。
※旧ダクロンセールに比べるとツイスト量は大きくなる。
- フルバテンによってセール形状が作られるので、微風時の微妙な風のプレッシャーによるシーティングが難しい。
- ジャイブ時に上3本いずれかのバテンが返りにくい。
※動作の工夫と適正なバテンテンションで対応する。

②順風域（5m/s～8m/s）

- 基本セッティングのままパワフルに走ることができる。
- 風が強くなりブームエンドがガンネルエンド付近のコンディションでは、バテンテンションを下げるごととカニンガムテンションを上げることで対応できる。
※海上でのピンダウンが困難なSS級において対応幅が広がった。

③強風域（9m/s～）

- 順風域の最終バテンテンションを生かしてサイドピンダウンすると効果的である。
※ピンダウン時にローアテンションが変わらないように気を付けるとよい。

2 ジブセール

①微軽風～順風域（0m/s～8m/s）

- アパレントが変化しやすい上に、風速の変化に柔軟ではない。
※風域に関係なくシーティングによるトリムでの対応が必要である。
- ノーマルセッティング情報

タックの高さ：取付ピンの中心から8cm～10cm クリュウの取付位置：真ん中

- ボトムとトップのテルテール反応を一定にトリムする。
※タックのテンションは、リーチ形状に合わせて風速と共に徐々に上げていく。
※クリューの取付位置は、風速と共に徐々に下げていく。
- 微風のジャイブ時にトップバテンがマストに引っ掛かり、リーチを痛める。
※ジャイブ時に逆ジブを残すことで対応するが、十分な対処ではない。

②強風域（9m/s～）

- ピンダウンからさらにオーバーパワーな場合は、タック位置を下げてツイスト量を増やす。

3 ジェネカーセール

- 風域に関係なく風のホールド感が高く、安定した形状を維持しやすい。
※逆にセールカーブが崩れにくいので、ジェネカーパワーでVMGを判断するのではなく、相手艇との相對スピードやアパレントの変化によって判断する必要がある。
- ホイストとダウンが重くなった。